

罪の赦しを信ず

2020年4月5日
受難週

序：罪がゆるされるには、贖い（償い）が必要
相手にゆるしてもらう以外に解決はない
相手をゆるす以外に解決はない

I. 神に対する罪

(1)原罪（人間が生まれながらに持っている神への背き、無関心、敵対の本質）
悪いことをしてはじめて、罪びとになるのではなく
罪人だから罪・悪をせずにはいられない
最初の人アダムから始まって世の終わりまでなくなる

ローマ 3・10～18 義人はいない。一人もない。
心、ことば、行動のすべてが罪に汚れている

解決：人間にはできない 神の恵み
被害者である神の方から差し出された救いの道
ヨハネ I 4・9～10

イザヤ 53章 （5～6節）

ヘブル 9・22 血を注ぎ出すことがなければ罪の赦しはない
旧約のいけにえ ⇒ イエス・キリスト
繰り返し、効力限界 一度だけ、完全

エペソ 2・8～10
イエス・キリストの贖いを自分の罪のためと信じ、受け入れる（応答）
自分の行いによらず、神の恵みにより、信仰によって救われる、罪赦される
善い行いは、信じた結果（救いの条件ではない）

(2)信じた後、神に対して犯す罪

救われた後にも、失敗や不従順、背きの罪をおかす

解決：使徒 26・20
悔い改める

ヨハネ I 1・5～10（特に9節）
自分の罪を告白する
その罪を神はゆるしてくださる
私たちをすべての不義からきよめてくださる

唯一の赦されない罪

マタイ 12・31～32
聖霊を冒瀆する、聖霊に逆らう

II. 人に対する罪

(1) 父母を敬わない

尊敬、いたわりの気持ち、感謝の気持ちを持たない
助けを必要としていても助けない
実の両親のみか、配偶者の両親、目上の人々も対象

(2) 隣人を見下す、ばかにする（殺す）

高ぶり、傲慢
マタイ 5・21～24

解決：仲直り、和解をする

伝道 7・16

正しすぎではない 自分を知恵の有り過ぎる者としてはならない
解決：自分自身を知る

(3) 姦淫、不品行を行う

結婚・寝床を汚す
隣人の家庭、人生を破壊する
解決：誘惑は常にある、情欲を暴走させない自制、神の助けを祈る

(4) 盗む

物、金、権利、人脈

解決：ルカ 3・14

自分の給料で満足

テモテ I 6・8

衣食があれば満足 満ち足りる心を伴う敬虔＝大きな利益を得る道

(5) 偽証する

故意に陥れるための嘘、噂、フェイクニュース、詐欺
解決：だまされないようにする

(6) むさぼる

コロサイ 3・5

むさぼり＝偶像礼拝

心の中で始まる目に見えない部分 ⇒ ほかの罪に波及

むさぼりの心に機会を与えない

暇でないほうがよい、忙しい方が健全でいられる

III. 赦しに関するみことばの約束

マタイ 6・14 人の罪を赦すなら、天の父もあなたがたをゆるしてくださる

マルコ 11・25

マタイ 18・35 心から兄弟をゆるさないなら……

ルカ 17・3 悔い改めれば、ゆるしなさい

エペ 4・32 神がゆるしてくださったように……互いに赦し合いなさい

Ⅱコリ 2・10 あなたがたが人をゆるすなら、私もその人をゆるす、
それは、キリストの御前でゆるしたのだ

マコ 2・7 神おひとりのほか、だれが罪を赦すことができよう